

# 専門学校東京 CPA 会計学院熊本校 学校関係者評価報告書

## 令和4年度

実施日 令和5年5月15日

※令和4年度学校自己評価（基準日：令和5年5月1日）をもとに評価実施

## 令和4年度 学校関係者評価報告書について

学校法人高橋学園専門学校東京 CPA 会計学院熊本校は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るため学校自己評価を実施しています。この度、令和元年度より、教育・学校運営に反映すべく、学校自己評価とともに、学校関係者評価を実施しております。

本校に関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、卒業生・会計関連業界団体の皆様や会計・教育等に見識をお持ちの方々に令和4年度学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより信頼され開かれる学校を目指すべく、教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和5年5月

学校法人高橋学園

専門学校東京 CPA 会計学院熊本校

校長・学校評価委員会委員長

真開 純洋

## 学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

### 【評価委員】

学校教育法並びに学校教育法施行規則の規定とともに、文部科学省、熊本県ほか関係行政機関の指導・ガイドラインをふまえ、卒業生3名の方々に評価委員をお願いいたしました。

### 【評価方法】

学校関係者評価委員の方々に、令和5年5月15日にご参集いただき、令和4年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

### 【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。令和4年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

### 【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
- 評価者の意見・質問
- 質問・指摘の場合は本校の回答

### 【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の、教育課程編成、各種計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。

## 専門学校東京 CPA 会計学院 学校評価委員会

学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

【卒業生】【関連業界団体・企業】

税理士法人近代経営 山元 佑太

税理士法人さくら優和パートナーズ 杉山 亜夢里

有限会社高木商店（カネリョウ海藻株式会社） 宮崎 康太

◆学校関係者評価者が所属する企業・団体の詳細は公式サイトをご参照ください

税理士法人近代経営 <https://kinkei-net.com/>

税理士法人さくら優和パートナーズ <https://syp-ac.com/>

株式会社カネリョウ海藻 <https://www.kaneryo.co.jp/>

## 基準1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目【1-01～05】理念・目的・育成人材像

### 評価者意見・質疑

□本校は、実直に会計分野での高度な専門能力の習得を目指し、本物の「学びを通じた人財」の育成に取り組んでいただいている学校であると実感している。

□また、併せて、本校の教育方針として、変化の激しい、これからの社会を生き抜くための柱として、「考える力」の養成に力点を置いてこられた。今後も、その理念を大切に継続するとともに、更なる学校の活性化に取り組んでいただければと思っている。

一方、やむを得ないこととは思うが、年数の経過とともに、創立当初の理念や教育方針に対する熱い思いや意識がやや、薄れてくる傾向も感じられるので、どう意識の高揚を図っていくかが問われているように思う。

### 学校からの回答

変化の激しい、これからの社会を生きる学生には、会計分野での高度な専門力の育成とともに、豊かな人間性の育成にもしっかり取り組んでいかなければならないと強く思っている。また、併せて本校の教育の柱である、「考える力」の養成が必要不可欠である。まずは、教育に当たるものとして、授業改善が最も重要で、急務であると考えている。まさに授業は命である。常に真剣勝負でなければならない。そして、その土台になるものが創立当初からの教育理念である。常にあらゆる教育活動を通して、原点回帰を目指し、心機一転、新たに取り組んで参りたいと強く意識したところである。

## **基準2 学校運営**

### **点検項目【2-06】運営方針**

#### **評価者意見・質疑**

本校の教育力向上には、職員の熱い教育に対する愛情が必要不可欠である。また、職員さんも、寸暇を惜しんで教育活動に当たっていただいている。そういう中、先生方の潜在的な負担が相当考えられるのではないかと心配している。

#### **学校からの回答**

働き方改革が話題になっている中、時代に合った勤務の在り方等柔軟に対応が必要であると認識している。当然、勤務形態については、労基法や就業規則に沿った体制をと整えているが、今後とも、勤務体制の改善には十分気を配って参りたい。

また、指導体制の充実、勤務体制改善のため、卒業生の採用に向けて、既に東京校にて初任者研修を実施していただいております、大きな戦力になればと期待しているところである。

### **点検項目【2-07】事業計画**

### **点検項目【2-08】運営組織**

### **点検項目【2-09】人事・給与制度**

### **点検項目【2-10】意思決定システム**

### **点検項目【2-11】コンプライアンス体制**

### **点検項目【2-12】情報公開**

### **点検項目【2-13】情報システム**

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## **基準3 教育活動**

### **点検項目【3-14~19】目標の設定**

#### **評価者意見・質疑**

□入学当初から、学習の進捗に個人差がある。そういう中、どう効果的な授業の展開を図っていくのか。常に工夫・改善が求められるのではないか。

□パソコンのスキルは、必要不可欠である。専門性を生かすためにも、高いレベルの修得が求められるのではないか。

#### **学校からの回答**

□学習の進捗に差が生じることは避けては通れない。限られた職員での対応であるので限界があるのも事実である。そういう中、随時、個別学習を取り入れるなど、一人一人にあった指導に心掛けるとともに、機会あるごとに、学生への面接による動機付けをはじめモチベーション向上等に取り組んでいる。

□ご指摘のように、パソコンスキルは必須である。従って、検定取得についても、力を入れていかなければならないと考えている。既に、学生には、検定取得等の推奨を行い、学生への意識向上に力を注いでいるところである。

### **点検項目【3-20~21】教育方法・評価等**

#### **評価者意見・質疑**

授業評価を実施されているとのこと。授業改善は永遠の課題であり、正に命そのものである。今後も、継続して改善に取り組んでいただきたい。

#### **学校からの回答**

専門学校における授業は正に命である。常に授業改善に努め、わかる授業の実践に前向きに取り組んでいきたい。授業評価を生かすためには、教員面談が必要不可欠である。今後とも教員の意識改革に積極的に取り組んで参りたい。

### **点検項目【3-22】成績評価・単位認定等**

この項目は、ご意見がありませんでした。

#### 点検項目【3-23~26】資格取得等の指導体制

##### 評価者意見・質疑

CPAの魅力の一つとして、学生への個別指導の質の高さが挙げられる。学生各々の学習進度に対応した個別指導は、学生が安心して学びに取り組む環境を形成しており、この方針は是非とも継続されるべきであると考え。だが、教員の数には限度があることから、このような手厚い指導を維持するためには、教員の増員が求められる課題となっているのではないか。また、教員の中に企業での実務経験を持つ者がいれば、就職に関するアドバイスや相談が更に円滑になると思われる。

##### 学校からの回答

教員数の確保については、学校としても課題と考えている。なお、令和5年度においては、すでに企業での実務経験者1名を教員として採用している。今後も、可能な限り優秀な人材を登用していきたいと考えている。

#### 点検項目【3-27】教員研修等

##### 評価者意見・質疑

現在の状況は新型コロナウイルスの影響により、対面式の教育研修への参加が少し難しいとは認識している。オンラインで行われる研修なども引き続き検討すべきではないか。また、外部者研修だけではなく、教員間での情報共有や意見交換の場を設けることにより、教員同士の連携を強化し、全体としての教育力を高めることも重要であると思われる。

##### 学校からの回答

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により、対面式の教育研修への参加が困難であったものの、年度末付近では新型コロナウイルスの影響もある程度落ち着いてきたため、数件の研修会への参加を行っており、今後も数を増やしていきたい。なお、教員間での情報共有や意見交換については、東京校との連携も含め、より一層強化していく。



## **基準4 学修成果**

### **点検項目【4-28~32】就職率・資格取得率等**

#### **評価者意見・質疑**

学生のキャリアデザインについて、学校としての支援体制を強化することも必要と考える。具体的には、就職活動に向けたインターンシップの機会の提供、面接対策のクラスの実施、就職相談の時間を増やす等である。また、資格取得に向けての学習支援の充実化も重要である。このような取り組みにより、学生の進路選択の自由度を高め、より良い結果を生むことができると思う。

#### **学校からの回答**

資格取得を通じた簿記会計の能力開発を土台として、それをうまく活用できるように、就職活動のための面接対策や就職相談等、企業と連携したインターンシップの検討など、学校としての支援体制を今以上に強化していくことで、学習と就職の相乗効果が図れると理解しているので、可能な限り進めていきたい。

### **点検項目【4-30】退学率の低減**

#### **評価者意見・質疑**

中退者は限りなく0名に近いと聞いている。学校におけるメンタル面のケアが行き届いている証拠だろうと思う。但し、ここ数年危ぶまれる学生がいるとも聞いている。

#### **学校からの回答**

出席管理をきめ細かく行うことが第一歩である。家庭との連携も必要である。学生の些細な変化やサインを見逃さず、適切に対応していくことが求められている。日々の観察と職員間の情報共有が必要不可欠であると認識している。

### **点検項目【4-31~32】卒業生の社会的評価**

#### **評価者意見・質疑**

もっと卒業生との関りを増やしてほしい。第一線で活躍している卒業生は、在学生にとっては身近な存在である。在校生のモチベーションをあげるためにも、意見交換など、是非機会を増やしてほしい。

#### **学校からの回答**

卒業生は、在校生にとって身近な存在である。今後とも卒業生との交流の場は非常に大切であると認識している。引き続き確保して参りたい。

## **基準5 学生支援**

### **点検項目【5-33】就職等進路**

この項目は、ご意見がありませんでした。

### **点検項目【5-34】学生相談**

#### **評価者意見・質疑**

相談できる環境づくりが必要である。カウンセラーの配置を含め、検討が必要ではないか。

#### **学校からの回答**

女性職員が育児休業から復帰し、学生の相談には積極的に当たっていただいている。しかしながら、心理カウンセラーや医療機関などの専門的の立場からのアドバイスも重要であると考え、引き続き、より適切な対応に心掛けたい。

### **点検項目【5-35～38】学生生活**

#### **評価者意見・質疑**

県外出身者で親元を離れて、生活をしている学生が少なからずいる。提携寮の存在は保護者からも心強い存在である。

#### **学校からの回答**

ある意味、親代わりの存在でもある。今後とも信頼の厚い提携寮の確保に努めていきたい。

### **点検項目【5-39】保護者との連携**

この項目は、ご意見がありませんでした。

### **点検項目【5-40～43】卒業生の支援、社会との連携等**

この項目は、ご意見がありませんでした。

## **基準6 教育環境**

### **点検項目【6-44】施設・設備**

この項目は、ご意見がありませんでした。

### **点検項目【6-45】学外実習・インターンシップ等**

#### **評価者意見・質疑**

本校においては、インターンシップ制度は特段取り入れていないが、学習意欲の向上や離職率の減少といった様々な利点が考えられる。是非、前向きに検討いただきたい。

#### **学校からの回答**

インターンシップについて、勿論、学生等から希望があれば、個別に対応している。今後、制度として、インターンシップは実施していないが、実施した場合のメリット、デメリットを比較検討し、必要性の有無について総合的に検証すべきであると考えている。

### **点検項目【6-46】防災体制等**

#### **評価者意見・質疑**

防災意識については、命にかかる重要な視点である。防火訓練とともに、水害に伴う避難経路などにも気を配ってほしい。特に、寮生にはハザードマップの配布などを含め啓発に努めてほしい。

#### **学校からの回答**

特に、日本は災害が多い国である。そして、災害は忘れたころにやってくると言われている。まずは、職員の、常日頃の意識啓発が重要である。令和5年度は9月に防火訓練を実施し、改めて防災意識を高めたいと考えている。

## 基準7 学生の募集と受け入れ

### 点検項目【7-47~49】学生募集活動

#### 評価者意見・質疑

入学者数が定員に達しているとは言えない状況にある。入学時にアンケート等を取り、志願に影響を与えたものは何かを探り、力を注いでほしい。

#### 学校からの回答

本校は、元々指導いただいた先生からの紹介というのが多い。しかしながら、今後は、募集活動の取り組みの一つ一つを検証し、改善に向けて、効果的な募集活動の構築に努めなければならないと考えている。

### 点検項目【7-50】学生学納金

#### 評価者意見・質疑

このところ物価上昇率が高水準で推移する中、学納金も当然影響が生じるのではないか。

#### 学校からの回答

現時点では、学納金は、妥当ではないかと認識している。今後も、引き続き、あらゆる角度から慎重に検討を続けなければならない。

## **基準 8 財務**

点検項目【8-51】財務基盤

### **評価者意見・質疑**

財務の安定のためには、中長期的に学生募集が影響してくる。今後とも学生確保には、しつかり着実に取り組んでいただきたい。

### **学校からの回答**

財務基盤の安定に向け、学生数の確保には、これからも力を注いで参りたい。

点検項目【8-52】予算・収支計画

点検項目【8-53】監査

点検項目【8-54】財務情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## **基準 9 法令等の遵守**

点検項目【9-55】関係法令、設置基準等の遵守

点検項目【9-56】個人情報保護

点検項目【9-57】学校評価

点検項目【9-58】教育情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## **基準 10 社会貢献・地域貢献**

点検項目【10-59】社会貢献・地域貢献

点検項目【10-60】ボランティア活動

点検項目【10-59】公開講座・教育訓練

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## **基準 11 国際交流**

点検項目【11-62～65】国際交流

この項目は、ご意見がありませんでした。